

日刊工業新聞社 2016年（第59回）十大新製品賞 日本力（にっぽんぶらんど）賞受賞

JTEKT Received "Japan Brand Award" of Best 10 New Products Award from Nikkan Kogyo Shimbun Ltd.

2017年1月4日、当社のFH1600SW5i 超大型横形マシニングセンタが日刊工業新聞社「第59回十大新製品賞 日本力（にっぽんぶらんど）賞」を受賞した。同賞は2003年に設立され、世界市場を牽引する日本発の技術や製品に贈られる。過去には、ハイブリッドカー「プリウス」などが同賞を受賞している。

2016年は64社67件の応募の中からの入選で、十大新製品賞の本賞を含めると当社は15回目（合併以前も含む）の受賞となった。

本機は、農建機・エネルギー・発電機・航空機などの大型部品を生産する北米顧客のニーズにこたえるため、当社の最新技術を結集し開発したマシニングセンタで、1) 横中ぐり盤のクイルと切削性能、2) 門形マシニングセンタの工作物サイズと加工範囲、3) 横形マシニングセンタの生産性を併せ持つ。

工作物は振り $\phi 3$ 200mm、高さ2 200mm、質量8 000kgとクラス最大で、加工範囲も横方向（X軸）3 000mm×縦方向（Y軸）1 900mm×切込み方向2 850mm（Z軸2 100mmとW軸750mmの合計）と大きく、大型農建機のフレーム、アクスルハウジング、トランスミッションハウジング、ディーゼルエンジンブロック、エネルギー産業の大型バルブ、風力発電のギヤボックス、航空機のランディングギヤなど大型部品の加工に適している。

早送り速度はY・Z軸が40m/min、X軸が35m/min、B軸（NC旋回テーブル）が 8min^{-1} とクラス最速。

また $\phi 200\text{mm}$ の新開発高剛性フロント軸受と55/37kWの出力を持つ主軸頭およびクランプ時24 000N・mの耐モーメントを持つ高剛性NC旋回テーブルにより、炭素鋼S45Cを $1\,872\text{cm}^3/\text{min}$ で切削除去でき、クラス最高水準の生産性を実現している。

本機は、軸受事業と工作機械・メカトロ事業を併せ持つ当社だからこそ開発できた、No. 1 & Only Oneの商品である。



FH1600SW5i 超大型横形マシニングセンタ



ジェイテクトテクニカルフェア 2015 で発売前先行発表



右から、岡安高雄執行役員、安形哲夫社長、磯谷秀逸主査、安藤正典主任、大川雄司主任、大塚義夫係員